



このゆびとまれ!

第 64 号



発行：中原区総合子どもネットワーク（なかはら子ネット）

ながはら子ネット通信

なかはら子ネットは区内で子育てしている人達を応援する中原区総合子どもネットワークの愛称です。区内の自主グループや関係団体・機関等で組織しています。

祭

親子で夏祭りに行ってみよう♪

7月から9月に、多くの町内会・自治会、保育園等が盆踊りや夏祭りを開催します。夏の思い出に、親子でお祭りデビューしてみませんか。(スケジュール・会場はお住いの町内会・自治会の掲示板などのお知らせをご確認ください。)

保育園のお祭りにも参加できます。

参加者の声

園内は先生方も子どもたちも浴衣や甚平を着て、お祭り一色でした。的当てやポウリングなどゲームは5種類程度あったのですが、年齢によって難易度が異なり、小さな子でも楽しく遊べる工夫がされていました。パネルシアターもあり、先生と子どもたちが一緒に歌う姿も。温かい雰囲気のお祭りで、子どもは楽しかったと大喜びでした。(N・M記)



※詳しくは各保育園にお問い合わせください。

地元の盆踊りに行ってきました。

参加者の声

木月3丁目盆踊り(住吉西公園) 去年は8か月の息子を連れて行ってきました。夕方の開催なので、夕食を食べて、お風呂に入ってから、夕涼みのお散歩を兼ねて参加。まだ歩けないので、抱っこをしながら、一緒に踊りました。太鼓の音や音楽、そして体を動かすのが楽しいみたいで、息子もご機嫌でした。帰り道は抱っこのまま、そのまま寝かしつけ。地域のお祭りならではの楽しみ方です。(O・M記)



第15回ながはら 二ヶ領用水・七夕祭り

毎年7月に行われる二ヶ領用水・七夕祭り。二ヶ領用水沿いに続く桃並木の保存と、みんなの願いをこめて、家庭で飾られた笹飾りを二ヶ領用水に流します。お子さんと一緒にぜひ参加してください。

- 場所：二ヶ領用水家内橋付近 ●主催：二ヶ領用水中原桃の会
- 日時：7月9日(日) 10:00~11:00 小雨決行・雨天中止



願いをこめて笹飾りを流します。

こんだて 紹介

ひじきごはん

鉄分、ミネラル、カルシウムが豊富なひじきごはん! ごはんに混ぜていると子ども達も食べやすく保育園でも人気のあるメニューです。お惣菜のひじきを活用してもいいですよ!

●レシピ

- ①米を研いで浸水する。
 - ②ひじきを水で戻しておく。(水に20分浸す)
 - ③にんじん、油揚げは短めの千切りにする。
 - ④米をざるにあげる。
 - ⑤炊飯器に米を入れ、調味料とだし汁を2合のところまで入れる。
 - ⑥②、③の具を入れ、スイッチON!
 - ⑦炊き上がったら、色どりとして茹でて刻んだ絹さやを混ぜる。
- *絹さやの代わりにグリーンピースでもOK
*米だけではなく、押し麦や雑穀を混ぜてもOK



(井田保育園提供)

●材料【大人2人分、子ども2人分(子ども1人:150kcal)】

- | | |
|------------------------|--------------|
| ○米……………2合 | ○だし汁 |
| ○乾燥ひじき……8g(乾燥でなければ70g) | ○砂糖……………小さじ2 |
| ○にんじん……………3分の1本 | ○醤油……………大さじ1 |
| ○油揚げ……………2分の1枚 | ○絹さや……………30g |

市公営保育園の献立表がホームページでも見ることができます。川崎市公式ホームページ「保育園 献立」で検索

保育園 献立 x 検索

読んでみて

きょうのおやつはなんだろな?

(中原図書館提供)

ふじもとのりこ/作・絵
鈴木出版/出版

ふとっちょろりんさつ
まいも、おひさまいろの
げんきなにんじん、つぶ
つぶいっぱいとうもろこ
しも…! ママがおいしく
してくれる。きょうのお
やつはなんだろな?



編集後記

自分が子供だった頃大好きだった「はらべこあおむし」が、曲になっているのを見つけました。文章が丸ごと歌詞になっています。幼児にとって自分で朗読は難しくても、歌なら歌えるので、親子で一緒に歌いながらページをめくっています。子どもと一緒に声を出すのも、いつもの読み聞かせと少し違って楽しいです。(J・H記)

ながはら子ネット通信と一緒に作って下さる方募集!

次回以降の編集会議は、6月15日(木)、7月20日(木)午前10時から中原区役所別館1階幼児室で行います。お子さんを連れて参加できます。申込も不要ですので、ぜひ一度見学にいらしてください!



きんぎょがにげた

五味太郎/作 福音館書店/出版

シンプルでカラフルな絵探しの本です。指差しができるようになった頃から楽しめます。

きんぎょばちから、きんぎょが色々な部屋に逃げて行きます。

うまく紛れ込んでいて、ここかな?どこかな?と言いながら楽しくきんぎょを探します。

あれー?と迷うふりをするとココ!ココ!と得意げに教えてくれ、もう一回!と何度も何度も遊ぶお気に入りの絵本です。(K・H記)



たまごのあかちゃん

神沢利子/作 柳生弦一郎/絵
福音館書店/出版

絵がユニークで色遣いも鮮やかなので、出会った瞬間から息子のお気に入り。「たまごのなかで かくれんぼしてる あかちゃんはだあれ? てておいでよ」のフレーズの後に、にわとり、へび、かめ、ペンギん、きょうりゅうの赤ちゃんが順々として出てきます。文章もリズムカルで楽しく、息子は「次は何かな?」と想像しながら、わくわくと見ています。たまごの大きさが違うので、「おおきいねー。」と言ってみたい。たまごの数がそれぞれ違うので、数えてみたり、色々な楽しみ方ができる絵本です。(O・M記)



もこもこもこ

谷川俊太郎/作 元永定正/絵
文研出版/出版

下の子が2歳になったときにお友達に勧められて出会ったのが「もこもこもこ」。「しーん」から始まり「もこ」「によき」「ばく」「つん」「ぼろり」など出てくるのは擬音語のみ!

間の取り方や声のトーンを変えると、読むほうも聞く方もあきることなく楽しめます。当時4歳、7歳の上の子たちも大好きで、すりきれるまで何度も何度も読んだ思い出の絵本です。(I・R記)



どうぞのいす

香山美子/作 柿本幸造/絵
ひさかたチャイルド/出版

うさぎさんが作った「どうぞのいす」に、ロバさんが拾ったどんぐりを置いて一休み。お休みにやってくる動物たちが「どうぞのいす」に置かれた物を食べてしまうのですが…

娘は2歳頃にこの絵本と出会いました。少し難しいかな…?と思いましたが、読んであげると真剣に見ていて、今ではお気に入りの絵本に。この本を通じて、誰かに「どうぞ」と譲ったり、思いやることを覚え、譲ったりすると「どうぞのいすみただいねー」と言っています。優しい絵と内容に親も癒されます。(N・M)

うかがいました

読み聞かせで大切にしていること

- 読み聞かせは、あくまでも父母子のコミュニケーションの場であり、絵本はそのサポートをする潤滑油。お子さんが喜びそうな絵本を選んでください。お子さんをひざに抱いて優しく語ります。ページをめくるだけでもよいです。もし反対にお子さんが何か話していたら、じっと耳を傾けて聞いてあげることが大切です。
- 絵本によってはリズムカルに、または時に語りかけるよう、ゆっくり絵をみせます。ことばの繰り返しとリズムが心地よく響きます。

- 子どもが本の世界に入り楽しめるよう、子どもの目線や触れ合いを大切に。想像の世界を邪魔しないよう、親が説明しすぎず、ゆっくり、ゆったり接することも大切です。ストーリー性のある絵本は、字を読むというよりは、お話をするつもりで読むと自然な感じになります。
- 毎日、親子で絵本に触れることは大切です。親自身も絵本を楽しんでください。

(子育てボランティアグループ おはなしくまさん)

※区公営保育園の保育士がお勧めする絵本を紹介した「えほんだより」を作成し、公営保育園やこども文化センター、地域子育て支援センターなどで配布しています。また、おはなし会(絵本の読み聞かせ)は中原図書館などの各施設でも行っています。詳細は各施設にお問い合わせください。

